



# そのだ南

尼崎市立園田南小学校

学校便り 第6号

令和3年8月30日

HPアドレス [www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html](http://www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html)



## 心が奮い立つもの

校長 佐藤 喜代子

暑い日が続いた後は、大雨続きで災害に胸を痛めた夏休みでした。そして、まだまだ感染が収まりを見せず、4度目の緊急事態宣言が発令された予断を許さない中ですが、2学期のスタートを迎えました。引き続き、感染予防策に万全を期して、チーム一丸となって子どもたちの学びを止めない教育活動を続けていきたいと考えます。行事の延期や縮小、中止の可能性があります。重ねてのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

この夏にはオリンピックが開催されました。205か国の参加による33競技、339種目という約11,000人の選手が参加した大きな大会です。コロナ禍の影響で1年延期となったにもかかわらず、東京が緊急事態宣言下という中で、開催の意義が大きく問われた大会でもありました。代表として参加する選手たちは、この大会に向けて全身全霊をかけて努力し、準備してきた人たちばかりです。大きな期待と不安という重圧がかかる上に、参加していいのかという罪悪感が選手たちを苦しめたといえます。元気や感動を与える本来の姿から、いろいろな意味で問題を投げかけた大会となりました。その一方で、「無観客」という異例の開催は、多くの方が、ネットをつなぎっぱなしにしている「オンラインが常態化」した中で、新しい観戦スタイルが生まれた大会ともなりました。普段目にする機会がほとんどない競技をいろいろな角度や距離からタイムリーに観戦することができたのは、さまざまな機器を使って視聴できる環境が整ったからだともいえます。

数々の活躍と頑張りの中で、それぞれに印象に残った競技やシーンがあると思います。中でも注目した競技といえば、スケートボードやスポーツクライミング、サーフィンといったアーバンスポーツ（都市型スポーツ）から新しく加わった競技ではないでしょうか。速さや高さを極限まで追求したエクストリームスポーツの一つとして、都会の若者のスリリングな遊びからスタートし、世界に通用する技術性の高さまで極めていることに驚きと発見がありました。

技の習得は、一般の競技と違い、SNSの普及による動画内のプロの技や身近な仲間が指導者である。細かい採点基準などない世界で、日々新技の情報を迅速に入手し、自身の技の改良に努めているという。伝統的なスポーツにはない軽快さにあふれていて、指導者層との圧力に満ちた関係性などない風通しの良さ、自由さはオリンピックのイメージを変える機会となったとも言えそうだ。驚くべきは、10代の選手が上位に連ねたことはもちろん、スケートボードの選手たちが、失敗しても笑顔で戻ってきたかと思えば、いい演技した他の選手をたたえる。選手たちはよく転んだが、そのたびに励ましあっていたことだ。そこに国境はなく、年の差もない。あるのは個々へのリスペクト。五輪初採用となったこの競技の裏に、「友情、連帯、フェアプレーの精神」という五輪憲章に掲げるものを強く感じた。スポーツの原点を感じられただけでなく、各国のアスリートの思いや葛藤にも触れられた大会であった。 参照：朝日新聞 R3.8.9 神戸新聞 R3.7.27

一方で、伝統的な競技である武道にも目を見張る活躍がありました。新種目となった空手形では、空手発祥の地から「武神が降り立つ」という言葉がぴったりの喜友名諒選手の気迫あふれる姿が目にと焼き付いています。女子の清水希容選手の演武も含めて、ゾクゾクとした緊張が張り詰めた空気が映像を通して伝わってきました。「夢を追い続ければ達成できる」は、心に響く力強い言葉です。

そして、柔道の活躍が感動を呼んだのはもちろんのこと、井上康生監督が胴上げされるシーンは印象的でした。今回で代表監督を辞任する井上監督が進めてきた戦略を取り上げた報道がありました。今までのような根性論では立ちいかないとデータ分析と科学的根拠に基づく戦略へと大きく改変したといえます。世界中の対戦相手の一人一人の戦い方からルール改正に伴う特徴、審判の判断傾向の特徴にまでわたるデータ分析を科学研究部が行い、指導者の主観的情報と科研の分析結果を擦り合わせて指導に活かすことを続けてきた内容でした。

また、監督が大事にしたもう一つが選手との関係性でした。一人一人違う相手目線に立って、信頼関係を築くために常に意見交換しながら進めてきました。興味深かったのが、個々の選手たちを理解し、士気を高めるために力を入れてきたのが「モチベーションビデオ」だということです。 参照：朝日新聞 R3.7.14

選手の能力を引き出すために本気で力を入れたビデオづくりは、やる気をかき立てるメッセージや心が躍るBGMなど代表選手一人一人に合わせたビデオとなっている。試合や合宿で撮影した映像に選手の家族からのメッセージ動画や文字テロ

ップを組み合わせ、選手の好みや映像のテーマに合った音楽を付ける。1本4分ほどのビデオに撮影から完成まで数か月を要するという。「それぞれの選手のストーリーを意識して作っている」と言う。選手の個性や発する言葉、長所や課題も重要な要素だ。コーチやトレーナーからも情報を集めながら、構想を練る。選手によってビデオを渡すタイミングも違う。「選手は目の前の4分間の試合に人生をかけている。選手とともに戦っている気持ちで4分間のビデオ作製に全力を尽くす」と科研の担当者の鈴木利一さんは語る。

たった4分でも選手の背中を押し、奮い立たせる大きな力になっていたことは間違いありません。試合後は、全競技の選手たちが勝ち負けに関わらず、周囲への感謝の気持ちを伝えていたのも印象的でした。人を励まし、奮い立たせて、より大きな力の源となるのは、やはり人の力であるということをしみじみ感じる大会だったといえます。さあ、次はパラリンピックです。更なる活躍と感動を期待したいものです。

そして、子どもたちの2学期が、元気と感動であふれるよう願うばかりです。

## 8・9月 行事予定

25	水			13	月	登校指導	諸費振替日	
26	木			14	火	↓		
27	金			15	水			
28	土			16	木			●
29	日			17	金			
30	月	始業式・大掃除(式校時)		18	土			
31	火	学年別一斉下校		19	日			
1	水	委員会(アルバム写真撮影) 給食開始 夏休み作品展①(児童のみ)	諸費振替日	20	月	敬老の日		
2	木	夏休み作品展②(児童のみ)	●	21	火			
3	金	夏休み作品展搬出		22	水	クラブ(アルバム写真撮影)		
4	土			23	木	秋分の日		
5	日			24	金			
6	月	朝会	試験的オンライン授業 16:15~16:45	25	土			
7	火			26	日			
8	水			27	月			
9	木		●	28	火			
10	金			29	水			
11	土			30	木			●
12	日			●は定時退勤日 18時まで				

※新型コロナウイルスの影響により、授業参観、修学旅行、自然学校は延期になりました。

2学期  
生活目標

友だちの気持ちを大切にし、力を合わせてがんばろう

8・9月の  
めあて

気持ちのよいあいさつをしよう

**お矢のせ**

○熱中症対策として

- ・こまめな水分補給と汗を拭き取ることは、熱中症対策として有効です。

特にお子さまの場合、水分補給が欠かせません。今の水筒の量で足りるのかお子さまと相談し、必要ならば大きめの水筒をご準備ください。

○学期はじめの10日間

- ・2学期始まりの10日間前後、特にお子さまの下校後の様子を見守っていただけたらと思います。長期休業明けで不安に感じているお子さんがいるかもしれません。いつもと違う様子がありましたら担任までお知らせください。